

	<p>～学生の発想が企業 PR を変える！～ 日本大学芸術学部と連携し、区内事業者の PR 動画を制作</p>
<p>発表</p>	<p>3月26日（木）</p>
<p>URL</p>	<p>(ねりま PR チャンネル)https://pr.nerisapo.net/</p>
<p>区は、練馬ビジネスサポートセンターホームページ内の事業者情報発信サイト「ねりま PR チャンネル」で、日本大学芸術学部の学生が制作した4本の企業 PR 動画を公開しました。</p> <p>区は、区内企業の商品やサービス等の情報発信を支援するため、今年度から新たに日本大学芸術学部と連携し、学生の視点や柔軟な発想を取り入れた PR 動画の制作プロジェクトを実施しています。本プロジェクトでは、映画学科や放送学科の学生が、企画立案から打ち合わせ、撮影、編集までを一貫して担当しています。</p> <p>区担当者は「今後も大学との連携を通じて、区内産業の活性化に取り組んでいく。」と語っています。</p>	



▲撮影の様子

【概要】

1 プロジェクト内容

マーケティングのノウハウや人材不足、広報費用の負担といった課題は、多くの区内事業者に通ずる悩みとなっています。そこで区は、以下のとおり大学と連携したマーケティング支援を実施しています。

- (1) 練馬ビジネスサポートセンターが、企業の販路や顧客等に応じて効果的なマーケティング手法をアドバイスし、動画制作企画書の作成を支援
- (2) 動画制作企画書を基に、日本大学芸術学部の学生が、企画立案、撮影、編集等を実施
- (3) 区は、動画制作に係る費用の一部に対して補助金を交付（補助率3/4、補助上限75万円）

2 今年度の取組

廃棄化粧品のアップサイクルに取り組む事業者やスマートカーテンレールを製造する事業者、障害者福祉施設、農園カフェの区内4事業者に対し、それぞれの強みや想いを掘り下げた PR 動画を制作しました。

廃棄化粧品のアップサイクルに取り組む事業者は、連続短編ドラマの動画を自社の SNS アカウントで10月から先行配信しました。それにより、投稿に対するエンゲージメント数が通常比65%増となり、認知度向上と販売促進の効果が生まれました。



▲報道番組形式の動画



▲商品 PR 動画



▲連続短編ドラマ



▲収穫体験動画

3 企業や学生の声

(1) 企業の声

- ・学生の視点やアイデア、プロ意識に感動した。
- ・学生たちとのやり取りがクリエイティブで刺激的だった。
- ・早速動画を活用して販促につながった。

(2) 学生の声

- ・企業と企画や撮影を行う機会は貴重で、実践的なスキル向上につながった。
- ・企業から厳しい意見をもらい、新たな気づきになった。
- ・クリエイターとして尊重していただき、責任感を持ちながらも自由に取り組めた。

※区公式ホームページでは、制作に携わった学生と事業者のインタビュー動画も公開しています。

(区公式 HP)<https://www.city.nerima.tokyo.jp/jigyoshamuke/jigyosha/shoko/jyouhouhasshin.html>

【参考1】日本大学芸術学部について

日本大学芸術学部は写真、映画、美術、音楽、音楽、放送、デザインの8学科を有し、それぞれの専門性を活かした教育を展開しています。地方自治体や民間企業と連携した産官学連携プロジェクトを通じ、実社会を舞台とした実践的な学びを推進。本プロジェクトでは教員の指導のもと、学生が主体となり映像の企画・制作を行いました。

【参考2】練馬ビジネスサポートセンターについて

練馬ビジネスサポートセンターでは、区内中小企業者の経営改善、販路拡大、資金調達、補助金活用、事業計画作成などの悩みや課題解決を、中小企業診断士および各専門分野の相談員がサポートしています。また、練馬区産業融資あっせん制度による資金貸付の申込窓口を併設しており、相談から資金融資あっせんの申込みまでをワンストップで利用いただけます。

【問合せ】

練馬区 経済課 中小企業振興係 電話03-5984-1483